

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社オートバックスセブン
2025年7月31日

注:当社は第1四半期において決算説明会を行っておりません。
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

2026年3月期 第1四半期業績

全体概況	P. 3
セグメント別業績	P. 4
オートバックス事業	P. 5
コンシューマ事業	P. 8
ホールセール事業	P. 9
拡張事業	P. 10

TOPICS

中期経営計画 TOPICS	P. 11
ESG・SDGsに関する取り組み	P. 14

参考資料	P. 16
------	-------

オートバックス事業は販促施策が奏功するなど、タイヤや車検サービスが堅調に推移
前期にM&Aした子会社の業績影響もあり、増収増益

(単位:億円)	2026年3月期 1Q			2025年3月期 1Q	
	実績	売上比	前期比	実績	前期比
連結売上高	642		+18.9%	540	▲ 6.3%
売上総利益	229	35.8%	+24.3%	184	▲ 4.3%
販管費	202	31.6%	+16.4%	174	+0.8%
営業利益	26	4.2%	+154.1%	10	▲ 48.0%
営業外収支	3	0.6%	+21.4%	2	—
経常利益	30	4.7%	+124.9%	13	▲ 33.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20	3.1%	+173.9%	7	▲ 45.7%

※表示単位未満は切り捨て ※対売上比・前期比は円単位で計算

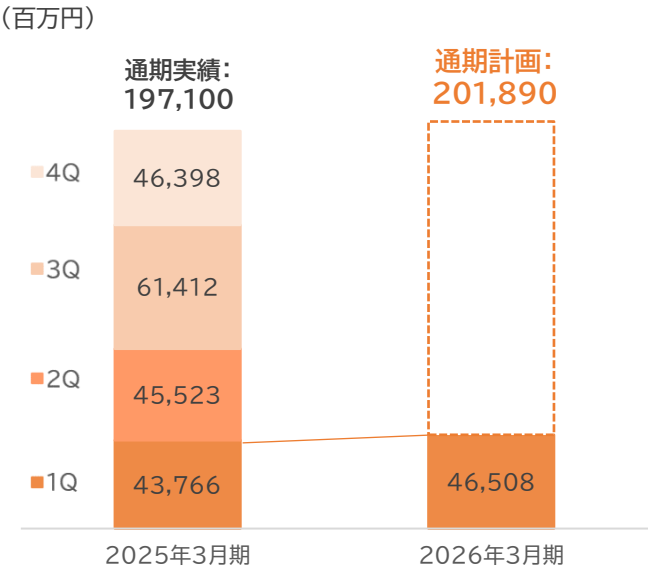
		2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	前期比	総括
(単位:百万円)					
オートバックス事業	総売上高	43,766	46,508	+6.3%	増収増益。 車両メンテナンス需要やタイヤの戦略的な販 促施策により、国内小売が好調。前期FCチェ ンパッケージ変更による影響の解消で売上総 利益が向上。
	売上総利益	15,418	17,452	+13.2%	
	販管費	11,920	12,823	+7.6%	
	営業利益	3,497	4,628	+32.3%	
コンシューマ事業	総売上高	4,907	12,193	+148.5%	増収・営業赤字縮小。 前期にM&Aした新規子会社が業績に大きく 影響。また、AudiとBYDの正規ディーラーや AUTO INなどの既存事業も伸長。
	売上総利益	1,246	3,299	+164.7%	
	販管費	1,531	3,343	+118.3%	
	営業利益	▲ 285	▲ 43	-	
ホールセール事業	総売上高	7,623	8,046	+5.5%	増収・黒字転換。 国内の小売業者向け取引が拡大したことに加 え、車両メンテナンス需要によりオイルの卸売 が堅調。中国の卸売子会社によるタイヤ販売 も好調。
	売上総利益	1,445	1,508	+4.4%	
	販管費	1,615	1,369	▲15.2%	
	営業利益	▲ 169	139	-	
拡張事業	総売上高	2,201	2,706	+22.9%	増収増益。 新規出店などにより不動産収入が堅調。
	売上総利益	377	711	+88.4%	
	販管費	209	413	+97.2%	
	営業利益	167	297	+77.4%	
コーポレート ^(※1)		営業利益	▲ 2,153	▲ 2,335	-

※表示単位未満は切り捨て ※前期比は円単位で計算
(※1) 「コーポレート」は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費です

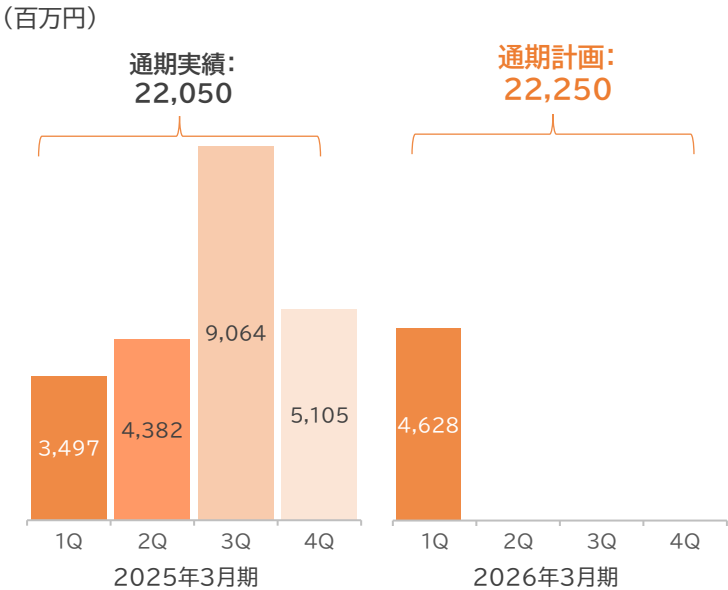
(百万円)	2025年3月期1Q	2026年3月期1Q	前年比
総売上高	43,766	46,508	+6.3%
小売	20,589	22,730	+10.4%
国内	18,011	20,391	+13.2%
海外	2,577	2,339	▲9.3%
卸売※	22,022	22,464	+2.0%
セグメント間取引	1,154	1,312	+13.7%
営業利益	3,497	4,628	+32.3%

※卸売売上高はロイヤリティを含む

■ 総売上高



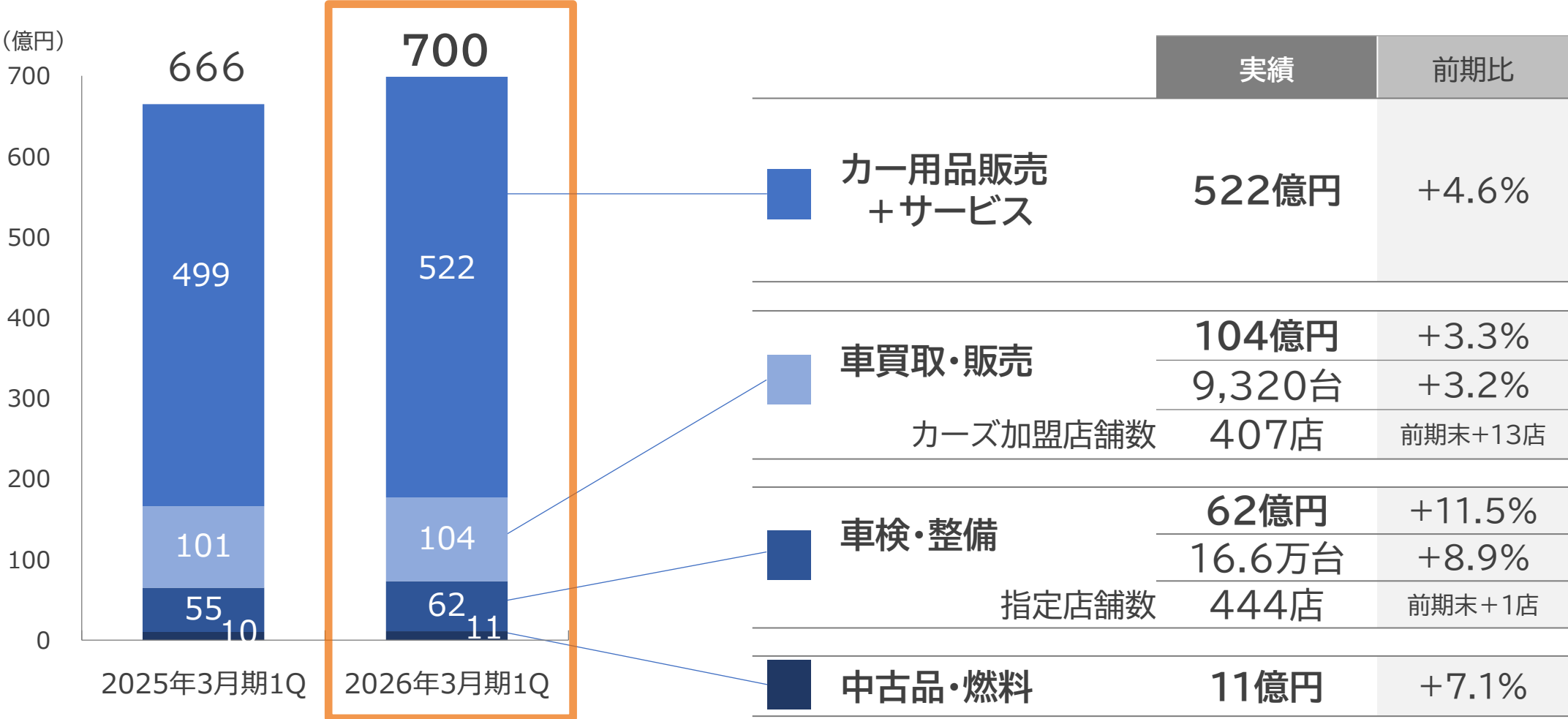
■ 営業利益



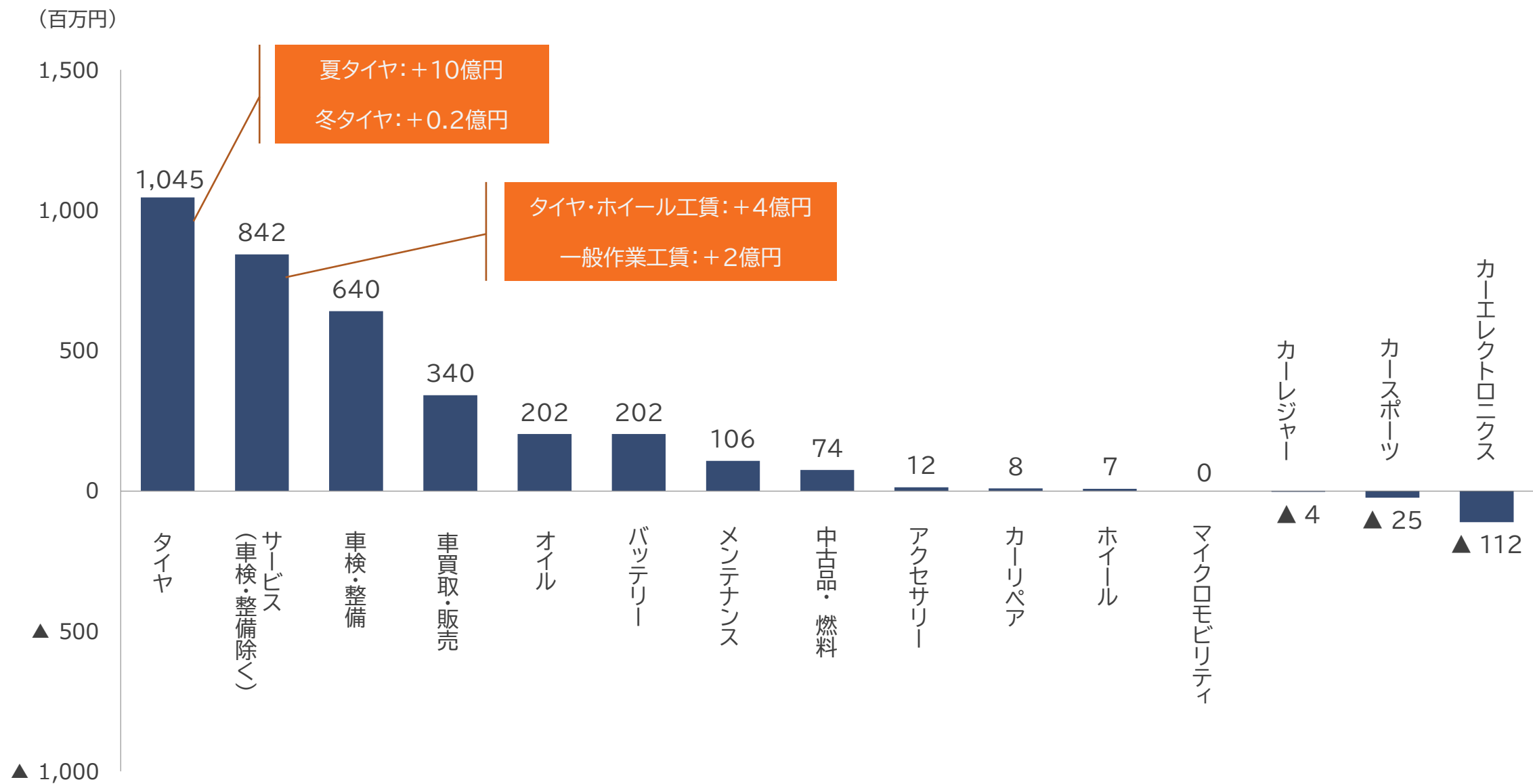
車両メンテナンス需要により国内小売が好調
前期のFCチェンパッケージ変更による影響の解消で売上総利益が向上し、増収増益

- 国内オートバックス
 - ・ 戦略的な販売促進施策が奏功し、タイヤが伸長
 - ・ 車両メンテナンス需要により、オイル・バッテリーおよび関連サービス工賃が好調
 - ・ 車検対象台数の増加により、車検が二桁伸長
 - ・ 小売が好調で、ロイヤリティ収入が増加
- 海外小売
 - <フランス>
商品のラインアップを拡充するも、政治不安や景気低迷の影響で売上が減少
 - <シンガポール>
既存車両のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが堅調

国内店舗売上高 **700億円** 前期比 **+5.0%**



※対象：国内オートバックスチェーン全業態。ただし、車買取・販売には、コンシューマ事業の売上を一部含む
※表示単位未満は切り捨て ※前期比は円単位で計算



※対象:国内オートバックスチェーン全業態
※表示単位未満は切り捨て

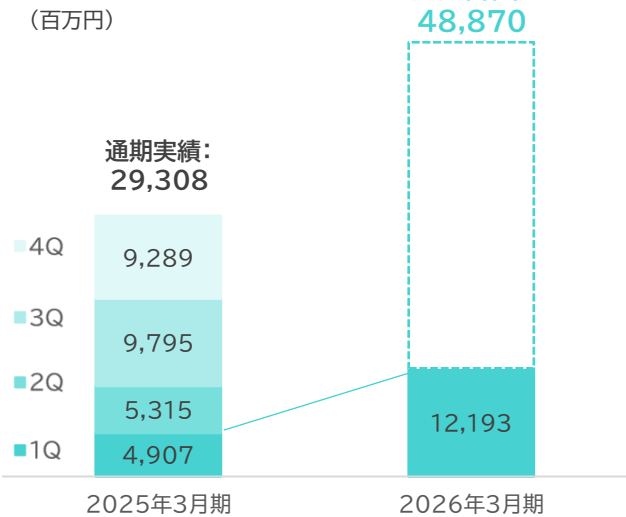
(百万円)	2025年3月期1Q	2026年3月期1Q	前年比
総売上高	4,907	12,193	+148.5%
ディーラー※	1,358	3,887	+186.1%
ビーライン	—	2,292	—
オートバックスカーズ	1,603	2,107	+31.4%
オトロン	—	1,535	—
オンラインストア	1,266	1,549	+22.4%
その他	656	755	+15.0%
セグメント間取引	23	67	+192.8%
営業利益	▲ 285	▲ 43	—

※ディーラー：Audi、Honda、BYD を展開。

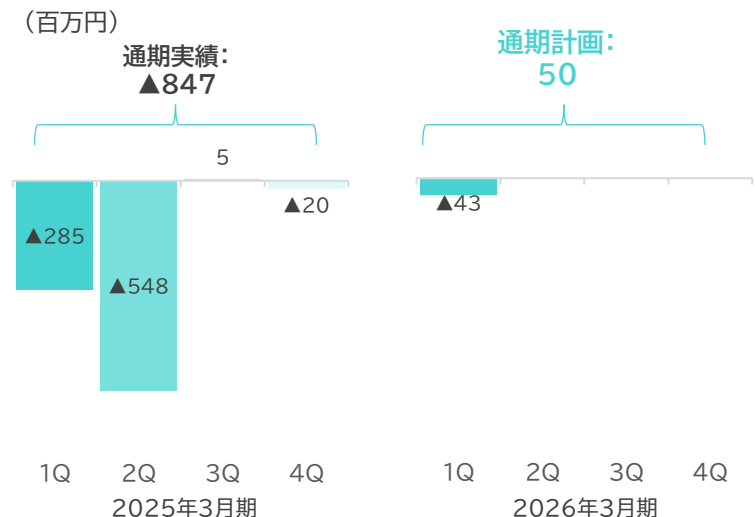
前期にM&Aした新規子会社(ディーラー、ビーライン、オトロン)が業績に寄与。既存事業も伸長し、増収・営業赤字縮小

- ディーラー
前期にホンダのディーラーを子会社化
- オートバックスカーズ
直営のかしわ大井の出店や、FC加盟店2店舗を新規オープンによるもの
- オンラインストア
ECモールにおける販売促進施策が奏功し、売上が増加
- その他
メンテナンス需要を獲得し整備子会社や、AUTO INが好調

■ 総売上高



■ 営業利益



ディーラー



タイヤ専門店



自社ローン型中古車販売店



大型の車買取・販売専門店

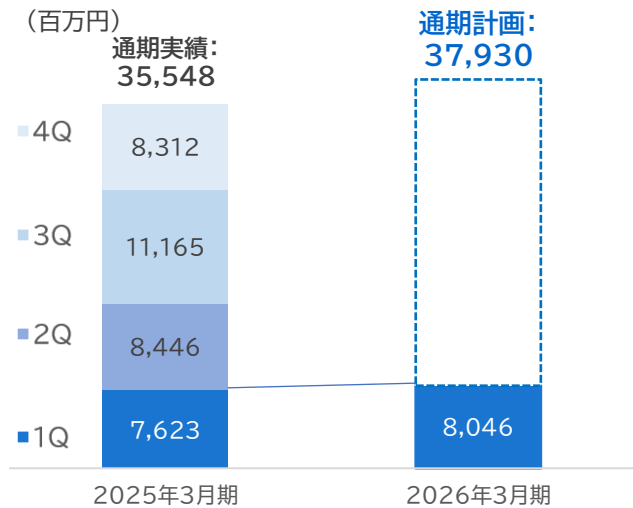


(百万円)	2025年3月期1Q	2026年3月期1Q	前年比
総売上高	7,623	8,046	+5.5%
国内卸売	4,895	4,934	+0.8%
海外卸売	698	688	▲1.4%
セグメント間取引	2,029	2,423	+19.4%
営業利益	▲ 169	139	—

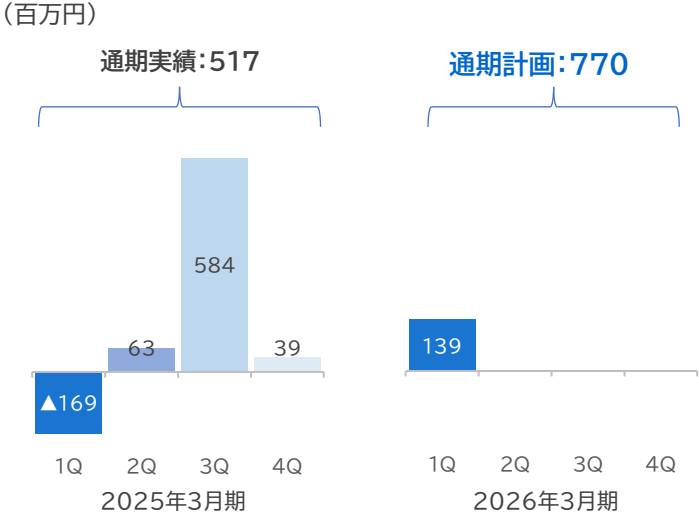
国内卸売および中国の卸売子会社の売上が増加
増収・黒字転換

- 国内卸売
 - ・セブン-イレブンへの卸売が拡大
 - ・車両のメンテナンス需要を背景に、エンジンオイル等の卸売子会社が堅調
- 海外卸売
 - ＜日本＞輸出取引が減少
 - ＜オーストラリア＞新商品の販売が堅調も、為替の影響で売上が減少
 - ＜中国＞日本へのタイヤの輸出が拡大し、増収・営業増益
 - ＜マレーシア＞オーソライズドディーラー認定店が増加

■ 総売上高



■ 営業利益



プライベートブランド「AQ.」



海外向けプライベートブランド



車両レーベル「GORDON MILLER MOTORS」

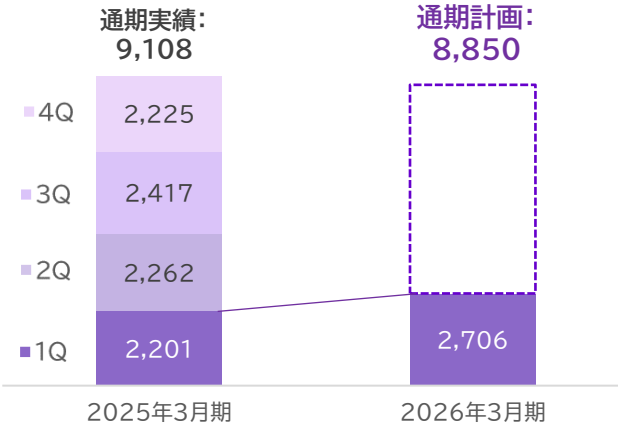


アルミホイール



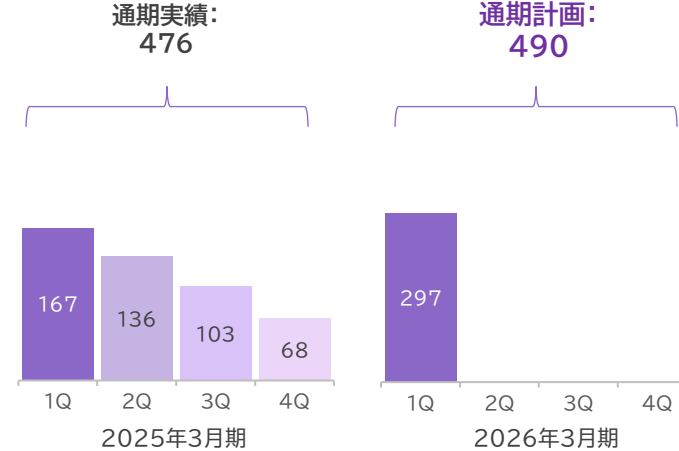
■ 総売上高

(百万円)



■ 営業利益

(百万円)



ファイナンス関連や不動産収入が好調

- ファイナンス
ローン金利引き上げにより増収
- 不動産
新規出店などにより不動産賃料収入が増加

■ トピックス

成田国際空港が「VEEMO Welfare」を導入

- ・障害者等用駐車スペースの不適切利用防止と利用者の利便性向上を目的としたサービス「VEEMO Welfare」を提供



レーシングチーム「ARTA」の運営を行う株式会社ARTAを子会社化

- ・レーシングチームの運営や若手ドライバーの育成等を行う株式会社ARTAを子会社化
- ・モータースポーツの将来的な事業化を目指す



①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」

株式会社ジェー・シー・エーを完全子会社化

- ・ 2025年4月に全国のショッピングセンターやホームセンター等でカー用品販売や自動車整備事業を展開する株式会社ジェー・シー・エーを完全子会社化
- ・ カー用品販売および自動車整備事業の競争力強化



中期経営計画 戦略骨子

- ①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
- ②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
- ③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

オートバックスカーズ、新規フランチャイズ店舗の運営開始

- ・ 当第1四半期に、オートバックスカーズFC加盟店2店舗がオープン
- ・ 2030年までに加盟店数100店舗を目指す



②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」

サプライチェーンマネジメントによる商品調達・開発機能のグループ最適化

- ・ 第1フェーズとして、商品調達・開発機能の集約に注力
- ・ 2025年4月1日付で子会社の商品調達・開発に関わる事業を吸収し、オートバックスセブンの当該機能と統合
- ・ 高品質かつ低コストな商品開発による競争力強化を図る



オートバックスグループ新専売タイヤ2アイテムを発売

- ・ 中国大手タイヤメーカー「リンロンタイヤ」のオートバックス専売モデルを発売
- ・ ロープライスと快適性を兼ね備えたサマータイヤ



**COMFORT
MASTER**
コンフォート マスター



GREEN-Max
グリーン マックス

中期経営計画 戦略骨子

- ①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
- ②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
- ③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

「オートバックスレンタカー」一般向けサービスを順次拡大

- 車検時などの有償代車として提供していたレンタカーサービスを、一般向けレンタカーサービス「オートバックスレンタカー」として順次展開



電動モビリティのサブスク・レンタルサービスを開始

- レンタル&サブスクモール「カウリル」を通じて、月額定額制のレンタルサービスをスタート
- 営業活動や観光用途など企業・自治体のニーズにも対応

話題の電動モビリティ

オートバックスで
サブスク・レンタルが
できます！

※受取は一部店舗に限る

受取後すぐに使える！

POINT 01 ナンバー登録済み

POINT 03 任意保険加入済み

POINT 02 自賠責保険加入済み

POINT 04 組立済み



■ 環境・社会に配慮した取り組みの充実

非財務目標	KPI	2024年度 実績	2030年度 目標
脱炭素社会の実現に向けた 安全・安心なEV普及の推進	急速充電器設置	13店舗	43店舗
	EV車検の推進(車検台数)	1,136台／年	3,440台／年
	EV販売の推進(販売台数)	302台／年	2,500台／年
環境配慮型店舗の設置によるCO2の削減	環境配慮型店舗の推進	103店舗	140店舗
環境配慮型ビジネスの推進	環境にやさしい商品開発	298商品	300商品
サーキュラーエコシステムの実現	オイル缶削減 (量り売りオイル販売比率向上)	▲5万缶(削減)	▲26万缶(削減)

■ 人事中期方針

重点投資分野	KPI	2024年度 実績	2030年度 目標
人材育成・リスクリング	データ分析人材の育成	教育受講者183名	320名
	2級整備士の確保と育成	1,804名	1,100名
ダイバーシティ&インクルージョン	女性役職者(課長以上)比率の向上	7.5%	18.0%
リソース・タレントマネジメント	女性従業員比率	18.1%	30.0%
	男性育休取得の推進	51.7%	100.0%
エンゲージメント向上	従業員エンゲージメント(旧いきいき度)	2.6	3.0

AQ. ブランド売上金の一部を育英会等へ寄付

- オートバックスプライベートブランド「AQ.」の商品売上金の一部を、交通事故で保護者を失うなどした子どもたちへの支援活動を行う財団に寄付



AQ.商品の一部

オートバックス約600店舗で中古カー用品の買取をスタート

- 2025年7月より、全国約600店舗で中古カー用品の買取サービスを本格的に開始
- 不要なカー用品の再利用を促進し、廃棄物の削減と資源の有効活用によって環境負荷を低減



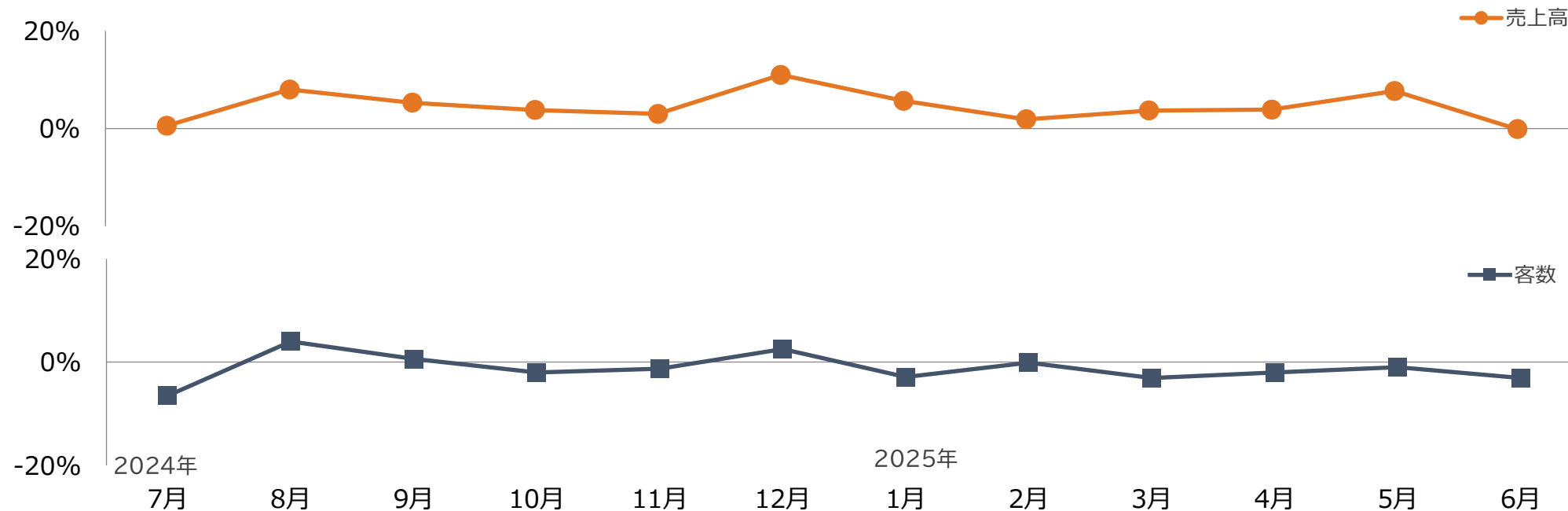
台数合計 **9,320台** 前期比 **+3.2%**

業販	
内訳	売上台数
本部へ売却	80台
本部へ売却を委託	1,717台
店舗から直接	4,968台
業販 合計	6,765台

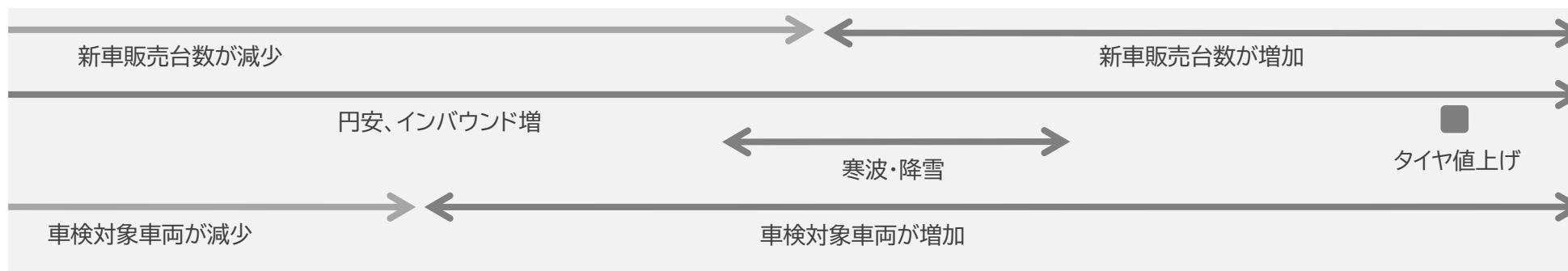
小売	
内訳	売上台数
中古車	1,858台
新車	697台
小売 合計	2,555台

※オートバックス事業およびコンシューマ事業における車買取・販売

1Q 既存店 売上前期比 +3.8% 客数前期比 ▲2.1%



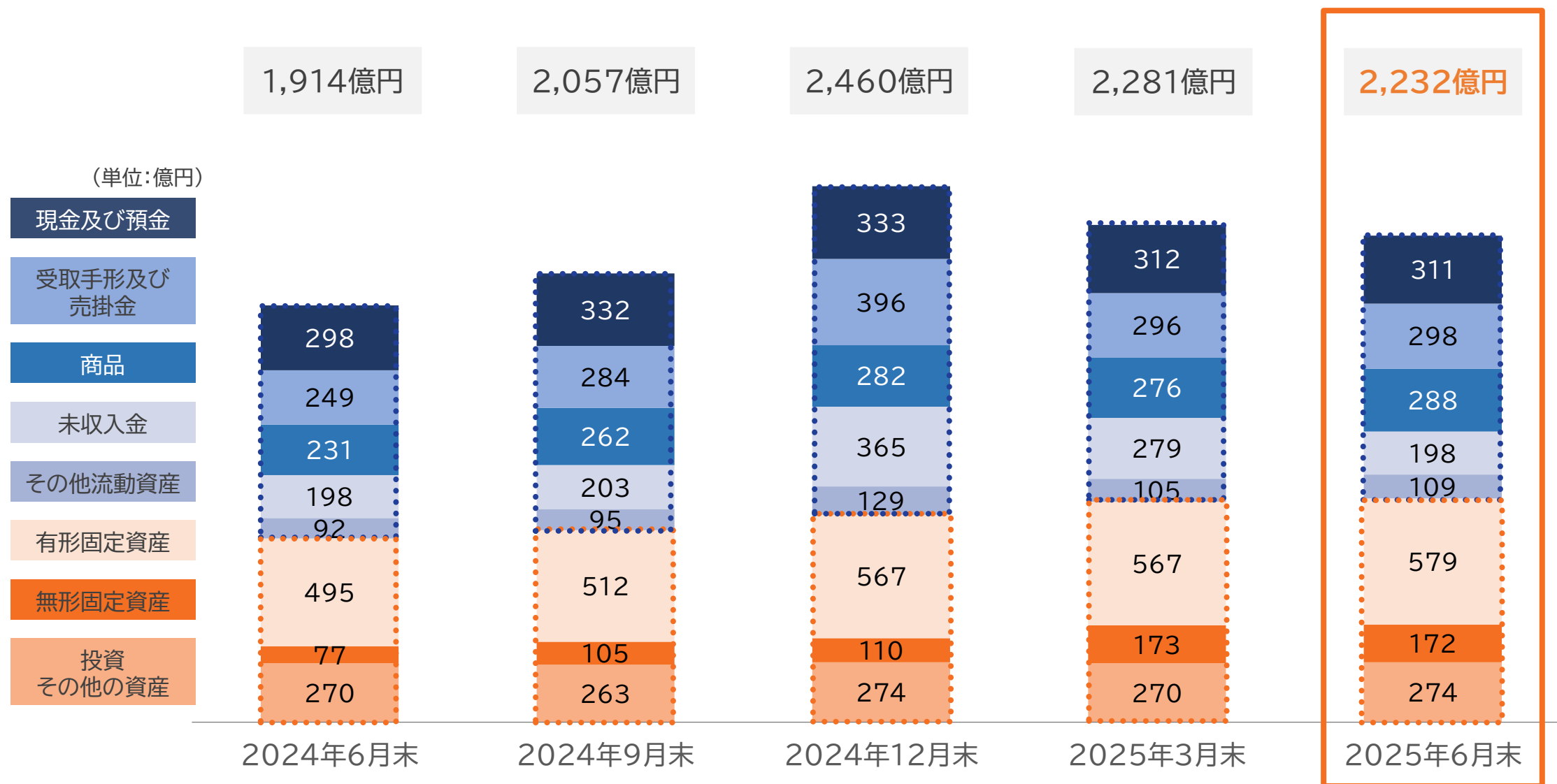
事業環境



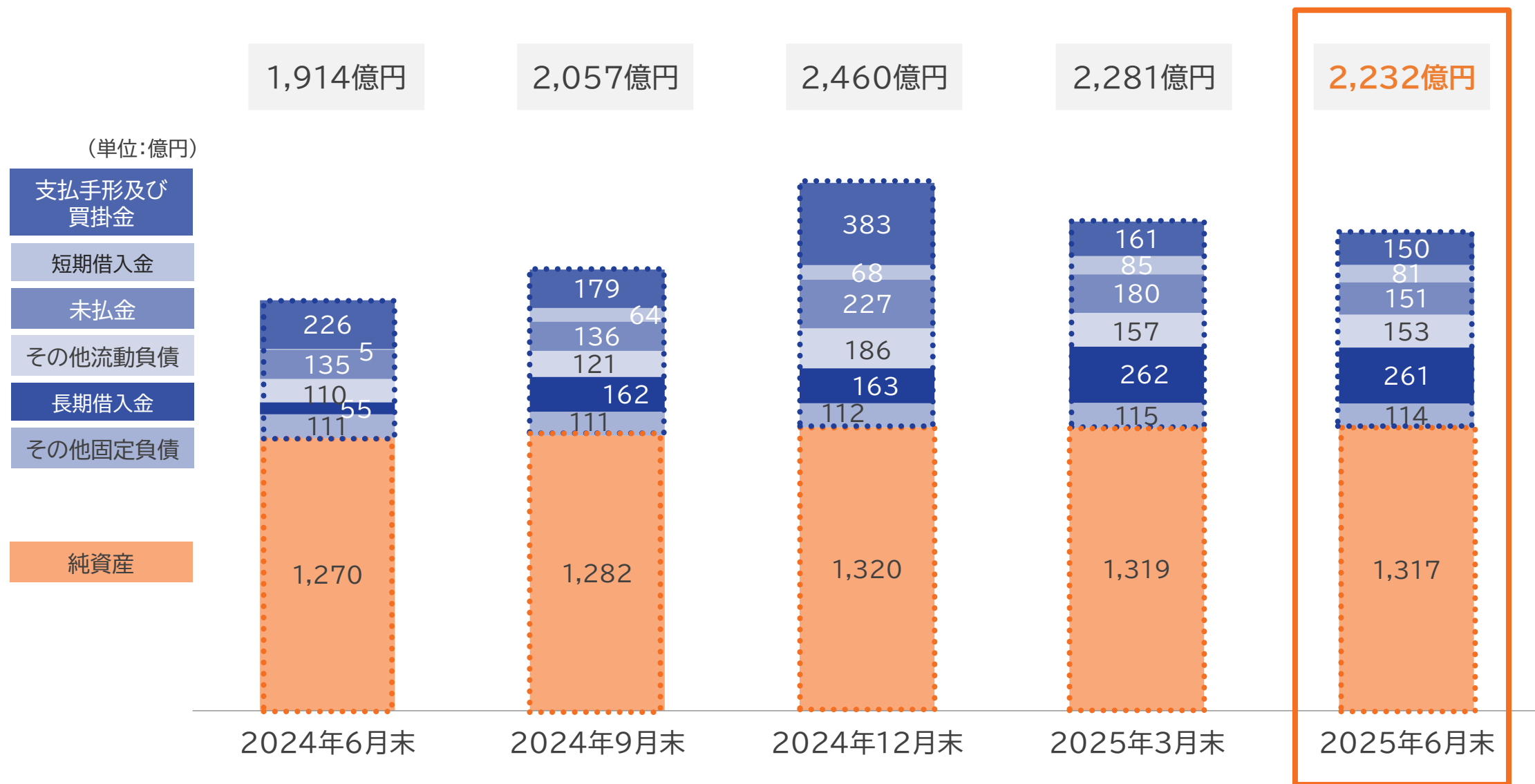
国内	25/3末	2026年3月期				26/3末	
		1Q(実績)		25/6末	2Q-4Q(計画)		
		新店	退店		新店		退店
オートバックス	509	+1		510	+9		519
オートバックスガレージ	1			1			1
スーパーオートバックス	71			71			71
A PIT AUTOBACS	2			2			2
オートバックスセコハン市場(※1)	18	+1	-1	18	+2		20
Smart+1(※1)	14			14	+1		15
オートバックスエクスプレス	11			11			11
オートバックスカーズ(※1)	394	+13		407	+1		408
ディーラー(※2)	20	+1		21			21
ビーライン(※2)	79			79			79
オトロン(※2)	17			17			17
AUTO IN(※2)	8	+1		9			9
国内計	1,144	+17	-1	1,160	+13		1,173

※1:インショップ、併設店を含みます
※2:2Q以降の出退店計画については2Q決算にて公表予定

海外	25/3末	2026年3月期			26/3末
		1Q (実績)	25/6末	2Q-4Q (計画)	
台湾	6		6		6
シンガポール	2		2		2
タイ	122		122	28	150
フランス	8		8		8
マレーシア	4		4		4
フィリピン	6		6		6
海外計	148		148	28	176



※表示単位未満は切り捨て



※表示単位未満は切り捨て



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。